

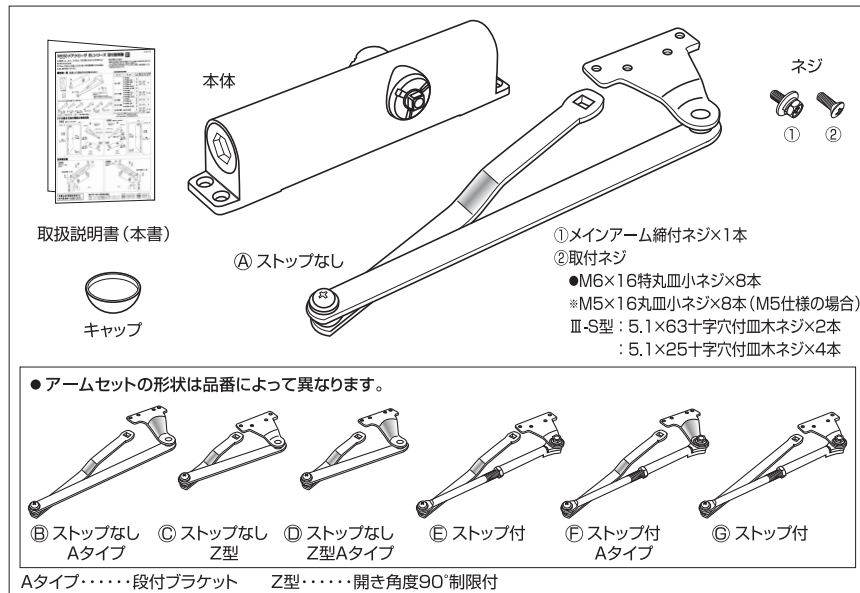
# NEW★STAR BL認定ドアクローザ 取扱説明書

SINCE 1919

この度はニュースター ドアクローザをお買い上げいただき、  
まことにありがとうございます。

ドアクローザを正しくお使いいただく為に、取扱説明書を十分にお読み  
になり、取付けを行って下さい。

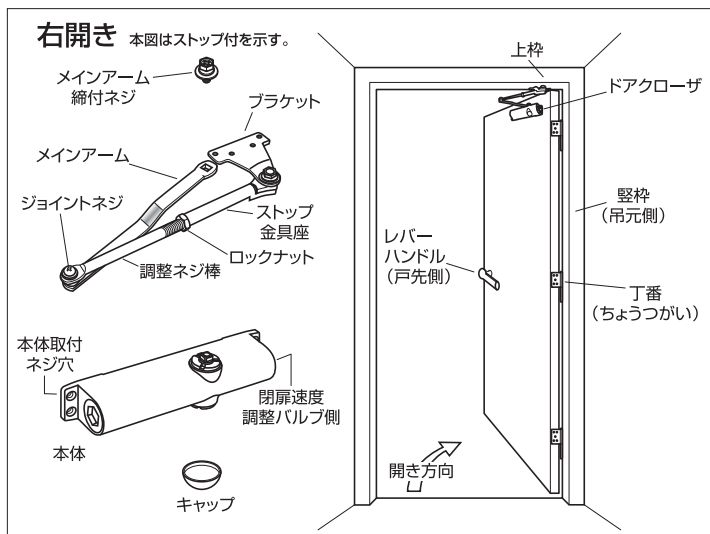
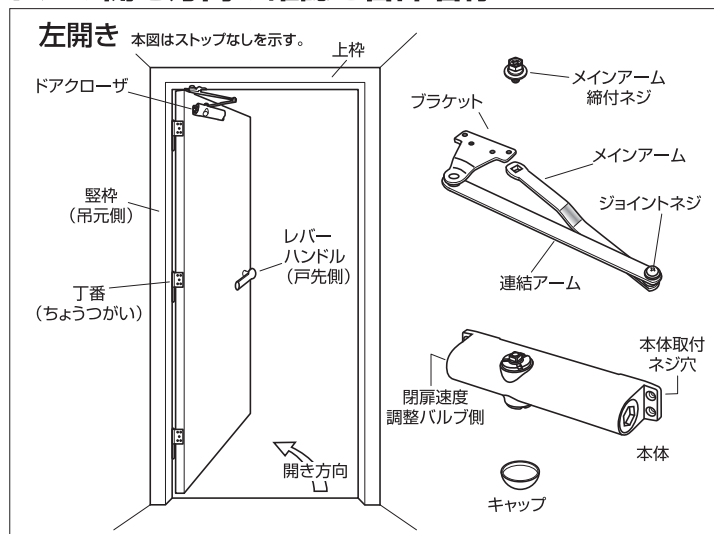
## 梱包物一覧（品番により部品の形状が異なります。）



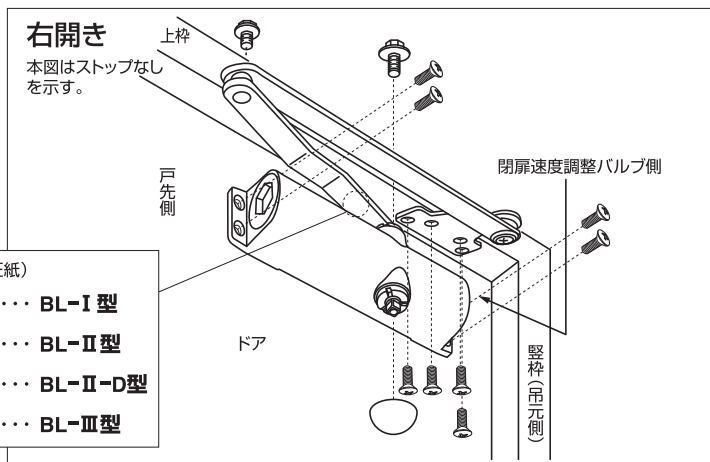
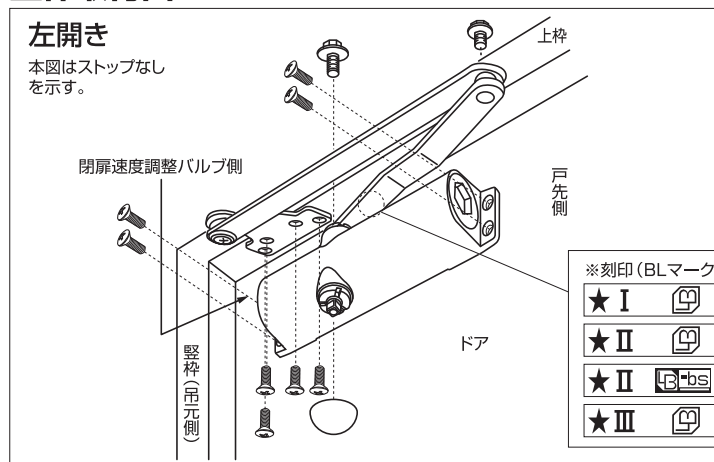
型 式	品 番	アーム 形状	適用ドア寸法 DW×DH mm	ドア重量 kg 以下
BL-I 型	K-P73BL	①	900×2000	50
	K-P73BL-LA	②		
	K-P73BL-Z90	③		
	K-P73BL-A	④		
	K-P73BL-A-LA	⑤		
BL-I-S型	K-P173BL	⑥	900×2000	50
	K-P173BL-LA	⑦		
	K-P173BL-A	⑧		
	K-P173BL-A-LA	⑨		
BL-II 型	K-P74BL	⑩	850×2000	50
	K-P74BL-A	⑪		
BL-II-D型	K-P74BL-DA	⑫	850×2000	55
	K-P74BL-A-DA	⑬		
BL-Ⅲ-S型	BL PS-2001	⑭	800×2000	30

注）LA=ラッチング機能付、DA=ディレードアクション・バックチェック機能付、  
A=段付ブラケット、Z=開き角度90°制限付。  
BL-II型・BL-II-D型はバックチェック機能付。

## ドアの開き方向の確認と各部名称



## 全体取付図



本書は必ず御施主様、又は  
御入居者様へお渡し下さい。

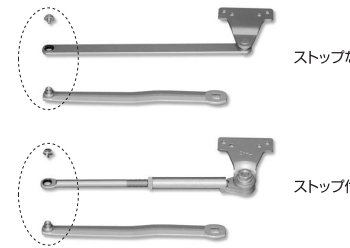
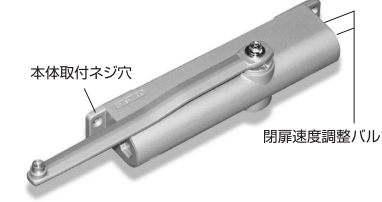


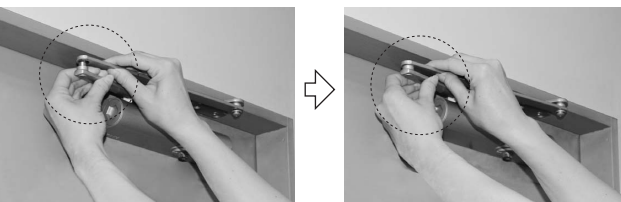
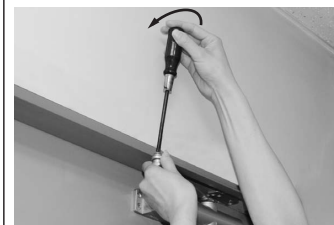

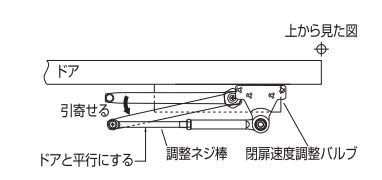

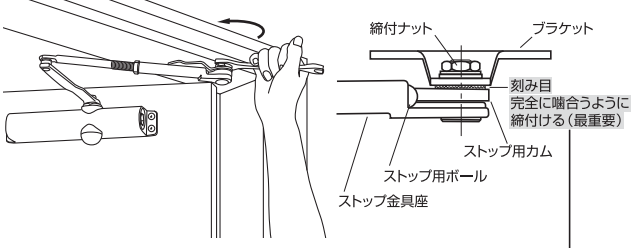
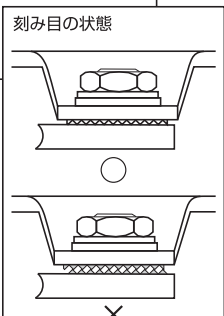




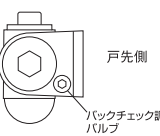
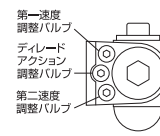
## 日本ドアーチエック製造株式会社

東京本社 / 〒110-0012 東京都台東区竜泉一丁目27番9号 TEL(03)3871-1411代  
(ニュースター東京ビル)  
大阪本社 / 〒544-0014 大阪市生野区箕東三丁目17番10号 TEL(06)6758-1251代

札幌支店 / TEL(011)851-8255～6 仙台営業所 / TEL(022)284-7501  
北陸支店 / TEL(076)243-2120代 静岡営業所 / TEL(054)238-2751  
名古屋支店 / TEL(052)981-7531～2 広島営業所 / TEL(082)877-1611～2  
福岡支店 / TEL(092)271-5491代 高松営業所 / TEL(087)843-1212～3  
ホームページ <http://www.e-newstar.co.jp/>

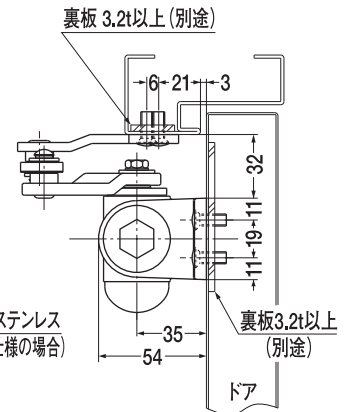
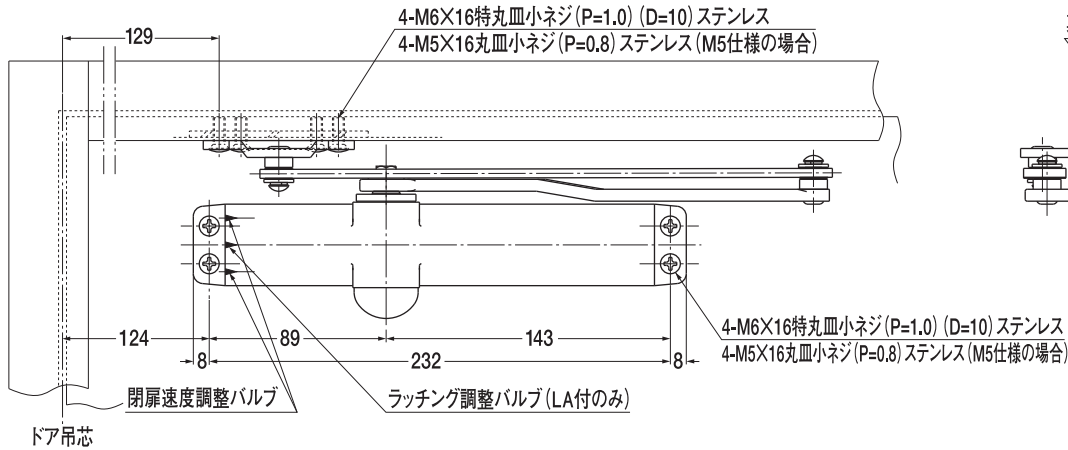
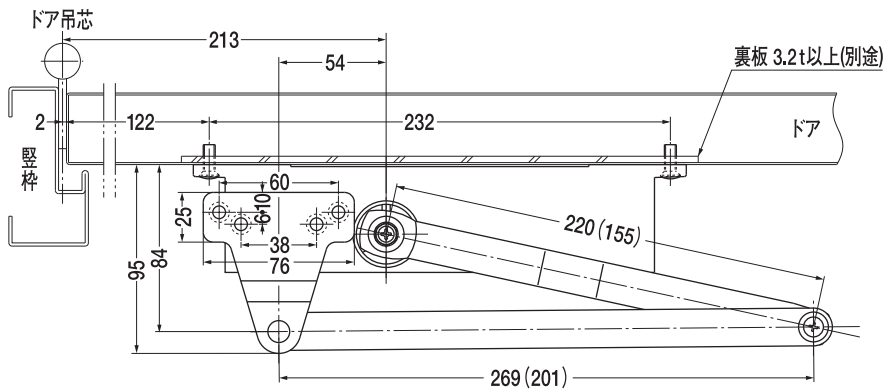
# 取付順序 (ドアを完全に閉じた状態で作業して下さい。)

本図は右開きを示します。  
左開きの場合は左の全体取付図を参照し、作業して下さい。

<p><b>1</b> アームセットのジョイントネジを外して分離する。</p>  <p>ストップなし</p> <p>ストップ付</p> <p>【使用工具】プラスドライバー</p> <p>注意 ジョイントネジをなくさないで下さい。</p>	<p><b>2</b> 本体にメインアームを取付ける。</p>  <p>メインアームを閉扉速度調整バルブ側と反対に向けて、しっかりと取付けて下さい。</p> <p>【使用工具】プラスドライバー、10mm用スパナ、又はモンキーレンチ</p> <p>【使用ネジ】①メインアーム締付ネジ×1本</p>	<p><b>3</b> 本体をドアに取付ける。</p>  <p>閉扉速度調整バルブ側が吊元側に向くように取付けて下さい。</p> <p>【使用工具】プラスドライバー</p> <p>【使用ネジ】② ●M6×16特丸皿小ネジ×4本 ※ M5×16丸皿小ネジ×4本 (M5仕様の場合) Ⅲ-S型: 5.1×63十字穴付き皿木ネジ×2本</p>	
<p><b>4</b> ドアを開いた状態で上枠にブラケットを取付ける。</p>  <p>【使用工具】プラスドライバー</p> <p>【使用ネジ】 ③ ●M6×16特丸皿小ネジ×4本 ※ M5×16丸皿小ネジ×4本 (M5仕様の場合) Ⅲ-S型: 5.1×25十字穴付き皿木ネジ×4本</p>	<p><b>5</b> メインアームと連結アームを結合する。</p>  <p>メインアームを引寄せながら、しっかりとはめこんで結合して下さい。</p> <p>注意 メインアームを引寄せるとき、アームが戻るようとする力が加わるので、指を挟まないように注意して下さい。</p>	<p><b>6</b> ジョイントネジをしっかりと締付ける。</p>  <p>【使用工具】プラスドライバー</p> <p>【使用ネジ】ジョイントネジ (1で取外したネジ)</p>	
<p>ストップ付きの場合は下記 <b>5</b> の作業が必要です。作業後、ストップ角度の設定をして下さい。</p>			<p><b>5-1</b> 調整ネジ棒のロックナットを少し緩める。</p>  <p>【使用工具】17mm用スパナ、又はモンキーレンチ</p> <p><b>5-2</b> メインアームと調整ネジ棒を結合する。</p>  <p>メインアームを引寄せながら、調整ネジ棒がドアと平行になるように回して長さを調整し、しっかりとめこんで結合して下さい。</p> <p><b>5-3</b> ロックナットを締付ける。</p>  <p>【使用工具】17mm用スパナ、又はモンキーレンチ</p> <p>ストップ用ボールがストップ用カムにはまった状態で、ストップさせたい位置までドアを開き、締付ナットを締付けます。(出荷時、ストップ用ボールとストップ用カムははまった状態で、ブラケットは回転する程度に設定してあります。ブラケットとストップ金具座の連結部分は絶対に分離しないで下さい。)</p> <p><b>ブラケットとストップ用カムの刻み目を確実に噛み合せて下さい。</b> (戻り代がありますので設定した角度から若干戻ります。)</p> <p>再度調整する場合は、ストップ用ボールとストップ用カムがはまっているのを確認してから締付ナットを緩め、ストップさせたい位置までドアを開き、締付ナットを締付けます。</p> <p>【使用工具】17mm用スパナ、又はモンキーレンチ</p> <p>注意 ナットの締付け、ブラケットとカムの刻み目の噛み合わせが不十分な場合は、ストップ不良を起こし、部品の破損につながります。</p> <p>ストップ角度の設定 ドアを 70° から 180° までの任意の角度で止めることができます。</p>  <p>刻み目の状態</p> 
<p><b>7</b> キャップをはめる。</p> 	<p><b>8</b> 調整の仕方</p> <p>■閉扉速度調整</p> <p>K-P73BL K-P73BL-Z90 K-P173BL K-P74BL</p>  <p>第一速度調整バルブ 第二速度調整バルブ</p> <p>K-P73BL-LA K-P173BL-LA</p>  <p>第一速度調整バルブ ラッチング調整バルブ 第二速度調整バルブ</p> <p>BL PS-2001</p>  <p>第二速度調整バルブ 第一速度調整バルブ</p> <p>開き角度 90° から閉まるまでの適正閉鎖時間は 5~8秒 です。</p> <p>注) 第一及び第二速度の差を極端に大きくすると、故障の原因になります。</p> <p>■バックチェック機能 (バックチェック機能付ドアクローザの場合)</p>  <p>戸先側 バックチェック調整バルブ</p> <p>弱く 強く</p> <p>バックチェック区間 70°~85°</p> <p>■ディレードアクション機能 (ディレードアクション機能付ドアクローザの場合)</p>  <p>第一速度調整バルブ ディレードアクション調整バルブ 第二速度調整バルブ</p> <p>速くなる 遅くなる</p> <p>速くする場合 (左回転) は、1回転以上回さないで下さい。 ※BL PS-2001を除き調整には特殊工具が必要です。</p> <p>180° ディレード区間 第一速度 60°~70° 第二速度</p> <p>出荷時、バックチェック機能及びディレードアクション機能は効くように設定しています。</p>		

# BL-I 型 (K-P73BL,K-P73BL-LA) (K-P73BL-Z90)

本図は左開きを示す。

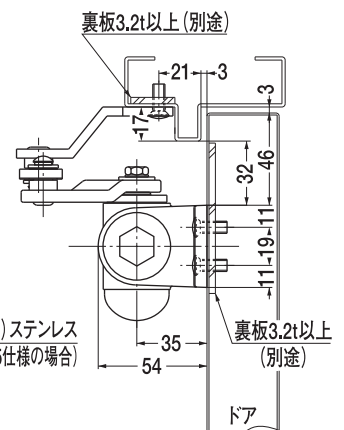
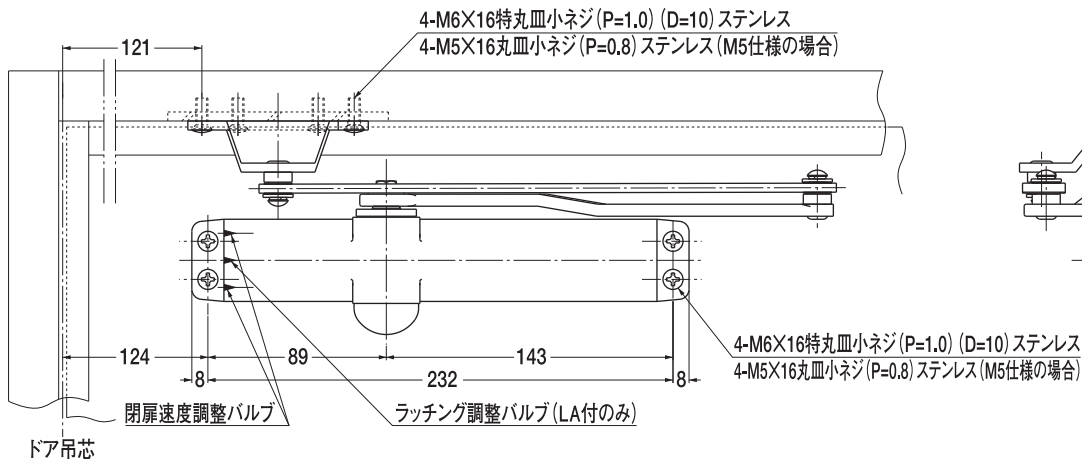
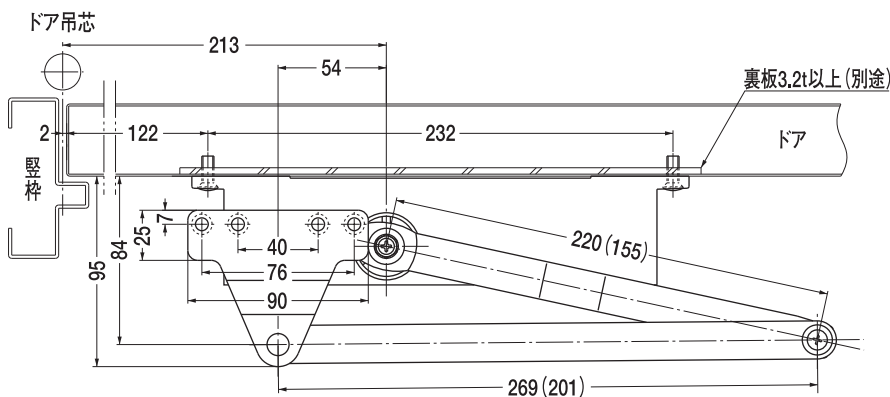


( ) は寸法は、Z90を示す。

## 段付ブラケット

# BL-I 型 (K-P73BL-A,K-P73BL-A-LA) (K-P73BL-A-Z90)

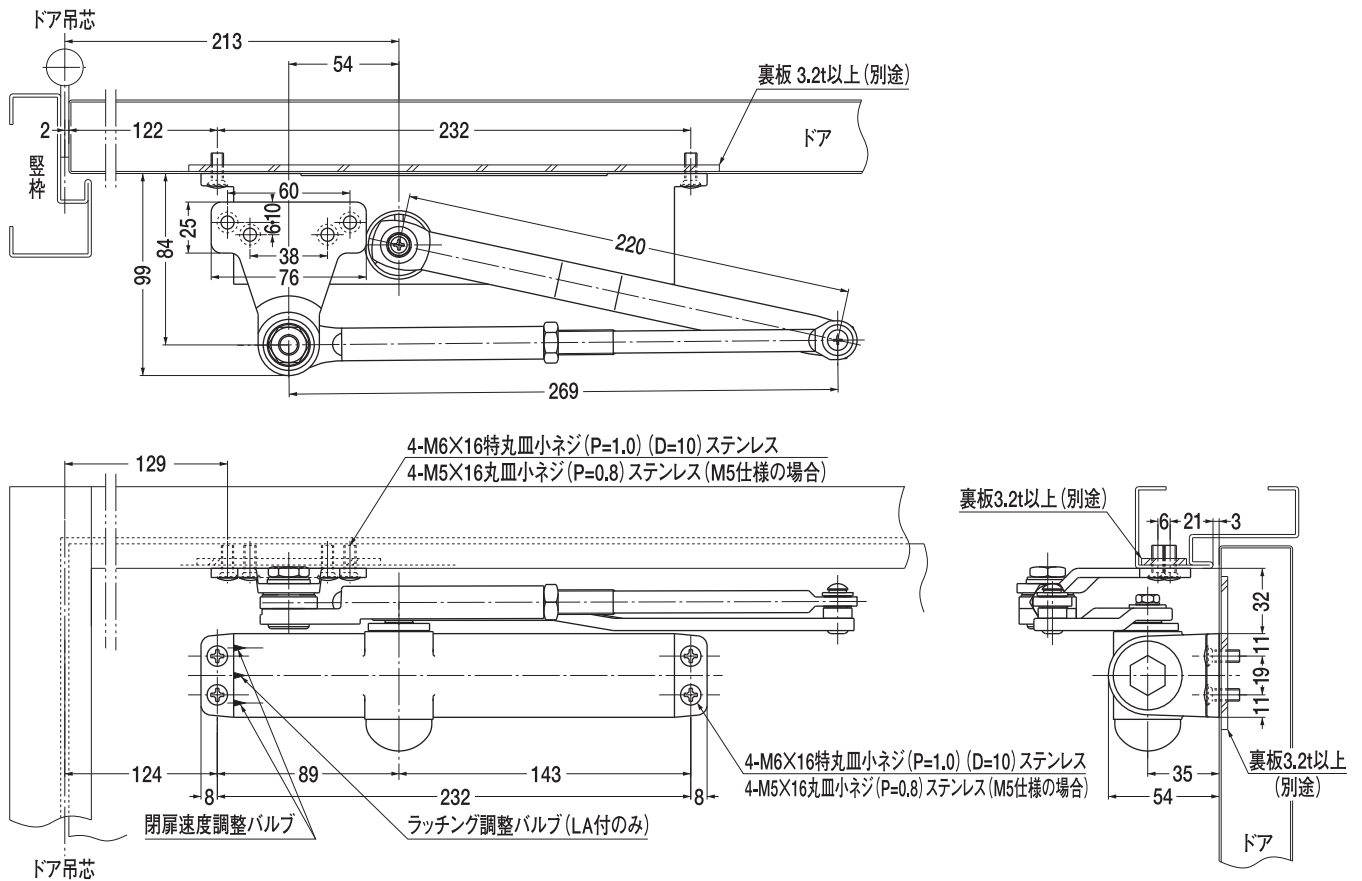
本図は左開きを示す。



( ) は寸法は、Z90を示す。

# BL-I-S型 (K-P173BL,K-P173BL-LA)

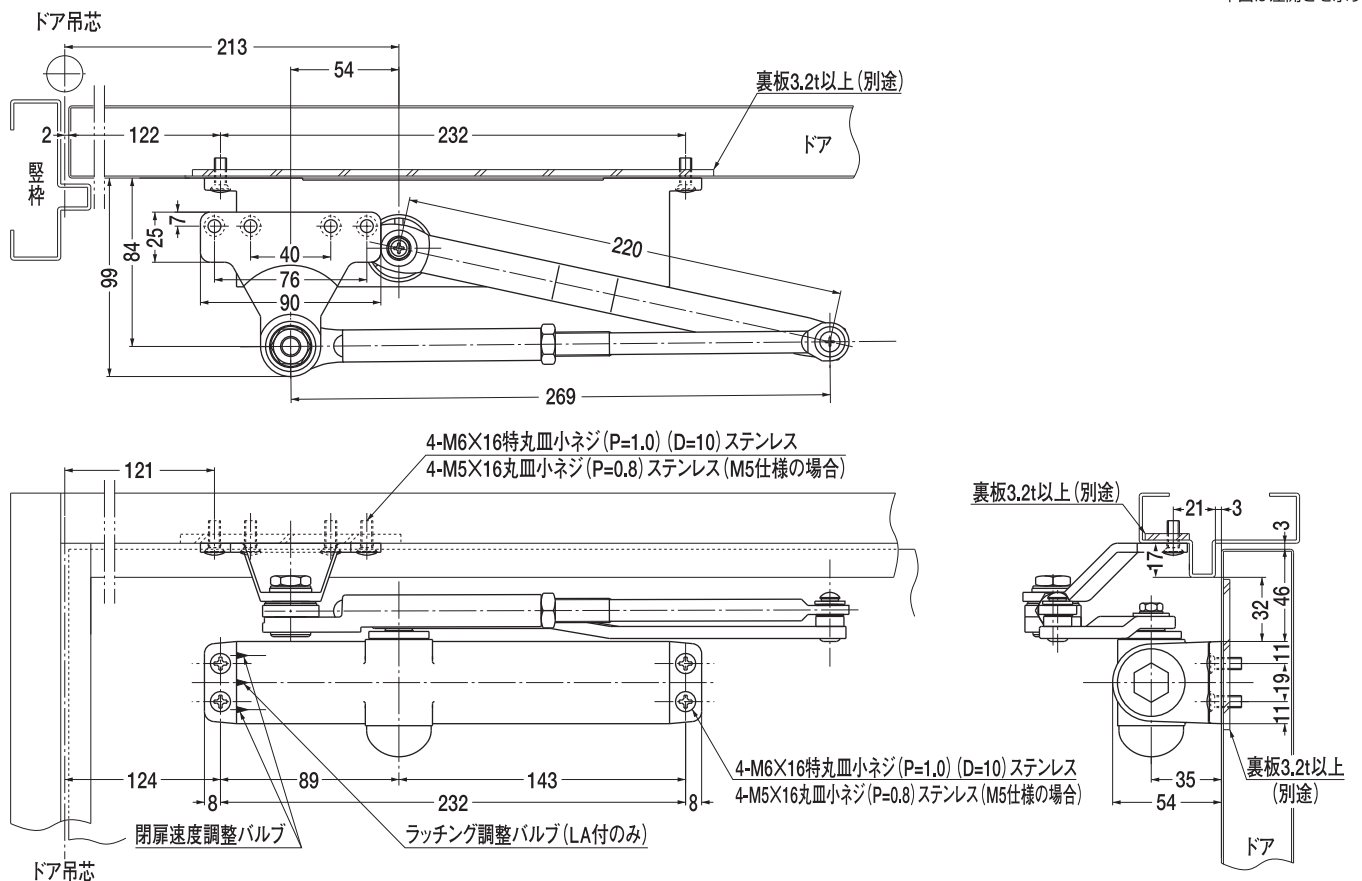
本図は左開きを示す。



## 段付ブラケット

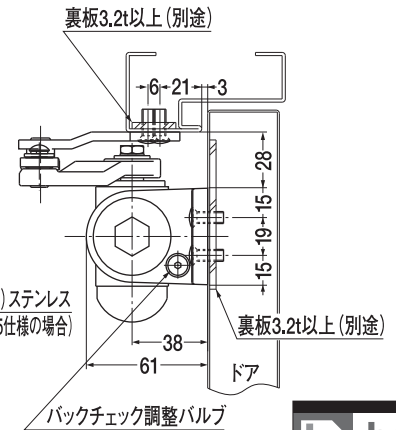
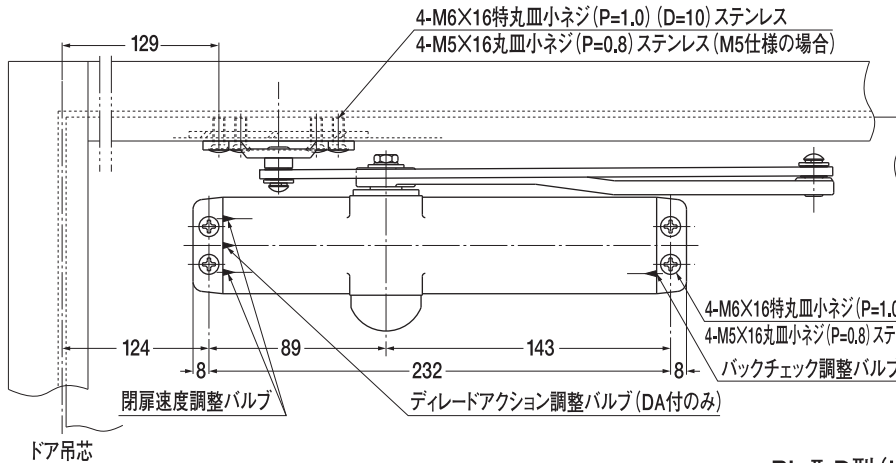
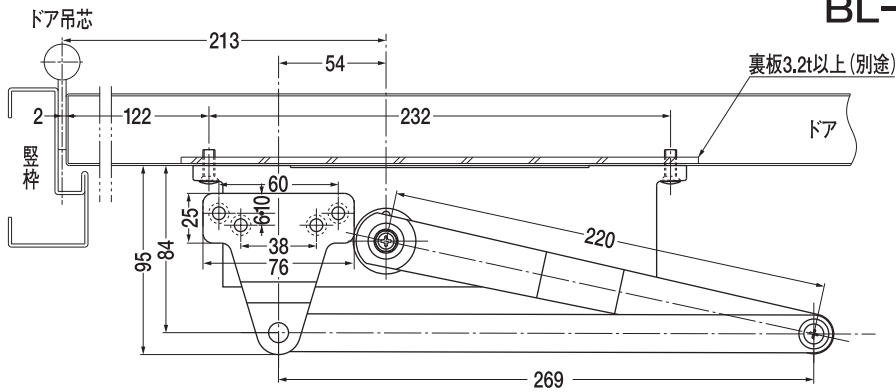
# BL-I-S型 (K-P173BL-A,K-P173BL-A-LA)

本図は左開きを示す。



# BL-II型 (K-P74BL) BL-II-D型 (K-P74BL-DA)

本図は左開きを示す。



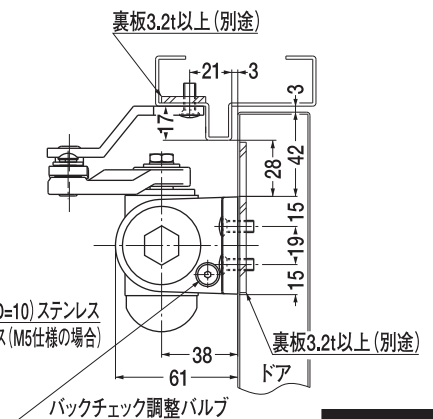
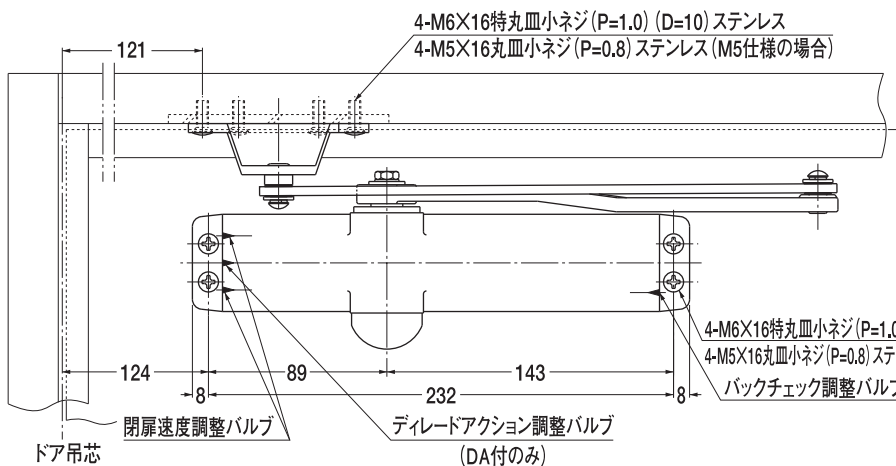
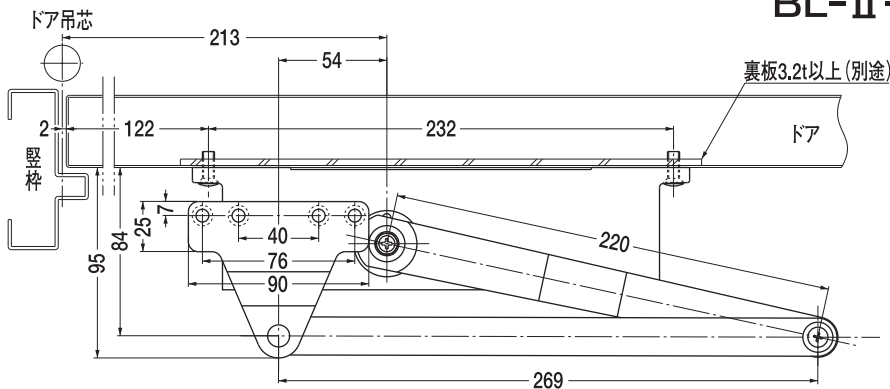
BL-II-D型 (K-P74BL-DA) は付加認定基準品



## 段付ブラケット

# BL-II型 (K-P74BL-A) BL-II-D型 (K-P74BL-A-DA)

本図は左開きを示す。

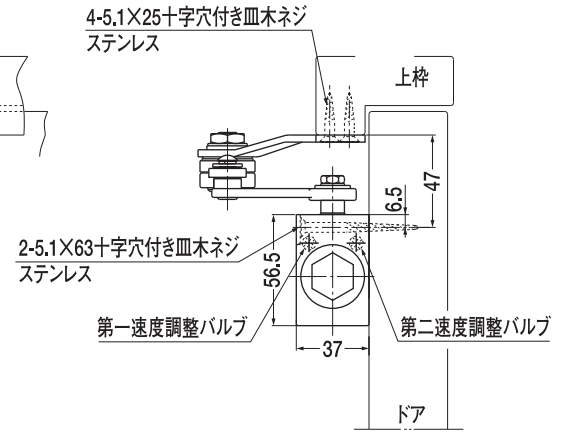
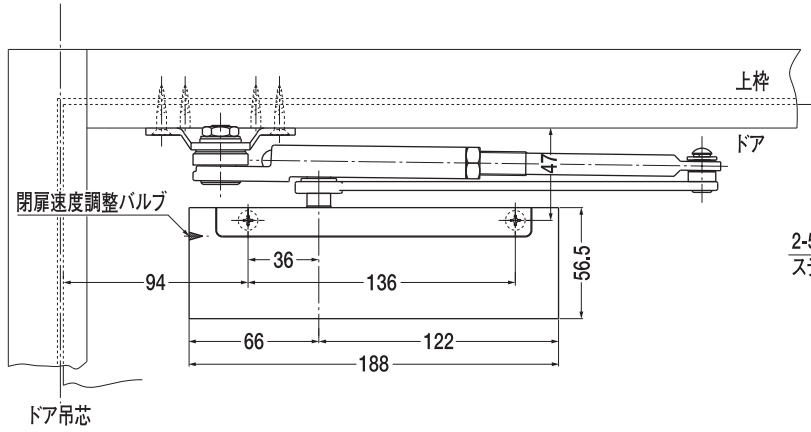
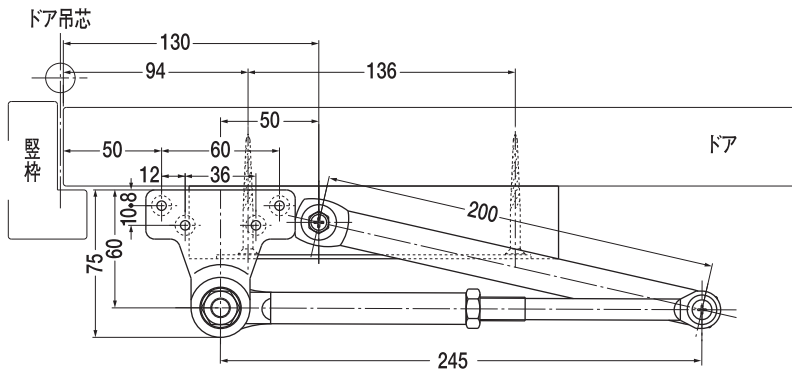


BL-II-D型 (K-P74BL-A-DA) は付加認定基準品



# BL-Ⅲ-S型 (BL PS-2001)

本図は左開きを示す。





# 商品保証について

弊社の製品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、建物管理責任者、施工業者、又は弊社にご連絡下さい。

尚、認定を受けた住宅部品には、「BLマーク紙証」の貼付等により優良住宅部品(BL部品)である旨を表示することになっています。

当該優良住宅部品及びその施工の瑕疵ならびにそれらの瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険が付与されています。

当該優良住宅部品の保証責任等を負うべき者がその責務を果たすことが出来なくなり、かつ、承継者がいない場合には、財団によって当該保証責任等の履行に代わる措置が講じられます。

## 保証期間

建築会社様よりの引渡し日(注1)(注2)から開き戸用3年間。

(注1) 改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。

(注2) 分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。

## 免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理、交換になります。

- ① 住宅用途以外で使用情况の不具合
- ② 施工要領書などに基つかない施工の不備に起因する不具合
- ③ 製品の性能、又は適用範囲(ドアの重量、サイズ、開閉回数など)を超えたドアの使用、又は超えた場所に取付けられたことに起因する不具合
- ④ 窓の開閉などによって誘発される屋内の気圧の変化に起因する不具合
- ⑤ 建築躯体の変形などに起因する不具合
- ⑥ 結露及び雨かりによる錆、カビ、変色、腐食などの不具合
- ⑦ 製品、又は部品の経年変化(使用頻度が高いことに伴う著しい消耗、摩耗など)や経年劣化(ゴム部品、樹脂部品の変質、変形、変色など)、又はこれらに伴うドア開放時の停止不能などの不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、交換、その他についてご不明の場合は、最寄りの弊社支店・営業所にお問い合わせ下さい。

# 取扱いについて

### 取付業者様へのお願い

この取扱説明書は必ずお施主様へお渡し下さい。又、ご入居者様へお渡しいただけますようお施主様へお伝え下さい。

### お施主様へのお願い

この取扱説明書は必ずご入居者様へお渡しいただけますようお願いいたします。

### ご入居者様へのお願い

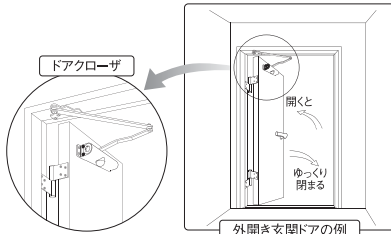
製品を正しくご使用いただくために、この「BL認定ドアクローザ取扱説明書」をよくお読み下さい。又、いつでもお読みになれるように大切に保管して下さい。

★ドアの閉まる速度を調整しないで下さい。  
BL認定ドアクローザは、ドアの急激な開閉を抑制し、思わぬけがを防止するためのものです。管理責任を負える方による調整を前提に、特殊な工具以外ではドアの閉まる速度が調整出来ない構造としています。ドアの開鎖速度の調整が必要な場合は、建物管理責任者、施工業者、又は弊社にご連絡下さい。

## 1. ドアクローザの基本機能について

1) ドアクローザとは、玄関のドア上部に取付けてあり、ドアを油圧によりゆっくりと自動的に閉めるためのものです。

☆閉じかけているドアを閉める方向に強く押したり、引いたりしないで下さい。  
☆強制的なドアを閉じる操作はドアクローザ本体内部の油が漏れたり、閉扉速度が調整不能となるなど、故障の原因になります。



2) 季節の温度変化により、ドアクローザ内部に密封された油の粘性が変化し、ドアの閉じる速度が変化します。温度が高くなる夏場には速くなり、又、温度が低くなる冬場には遅くなります。ドアの閉じる速度が極端に変化するには、建物管理責任者、施工業者、又は弊社にご連絡下さい。

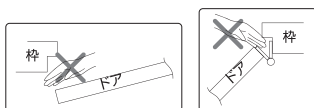
☆ドアの閉じる速度が極端に速くなると事故につながるおそれがあります。

3) 本体から油が漏れたり、部品が破損した場合は、至急建物管理責任者、施工業者、又は弊社にご連絡下さい。

☆放置しておくと、ドアの開鎖速度のコントロールが効かなくなり事故につながるおそれがあります。

4) 窓などの開閉によって誘発される屋内の気圧変化やドアクローザの性能を超える突風などにより、ドアが急激に閉まることがあります。

お願い けが防止のため、ドアと枠の間に絶対に手を置かないで下さい。



5) ドアクローザは分解、改造しないで下さい。

☆中の部品や油が飛び出して、思わぬけがをしたり、衣服やドア、床などを汚したりするおそれがあります。

## 保証内容

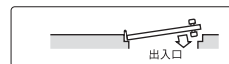
取扱説明書、本体ラベル、又はその他の注意書きに基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理、交換いたします。

ただし、本来の使用目的以外の用途に使用された場合は保証の対象にはなりません。

- ⑧ 製品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食、又はその他の不具合  
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起る腐食。異常な高温・低温・多湿及びオゾンガス環境下による不具合など)
- ⑨ 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)に起因する不具合
- ⑩ 引渡し後のドアの操作誤り、ドアクローザの調整不備、又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑪ お客様自身の修理、改造などに起因する不具合
- ⑫ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

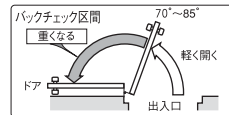
## 2. その他の機能について

1) ラッチング機能とは(ラッチング機能付ドアクローザの場合)



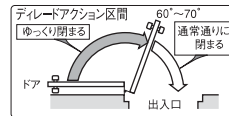
閉まり際の閉扉速度が調整出来ます。  
(エアタイト枠やラッチが固い場合に有効)

2) バックチェック機能とは(バックチェック機能付ドアクローザの場合)



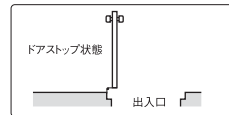
ドア開き方向に強風や外力が加わったとき、ドア開き角度70°~85°で油圧が働き急激にドアが開くことを制御する機能です。制御区間内は油圧が働き多少重くなりますが、ゆっくり開くことが出来ます。

3) ディレードアクション機能とは(ディレードアクション機能付ドアクローザの場合)



180°から70°~60°までゆっくり閉まり高齢者、身障者や荷物の搬入時の通行に配慮した機能です。それ以降は通常で閉扉します。作動区間内はドアを閉じる方向に、強く押ししたり引いたりしないで下さい。故障の原因になります。

4) ストップ機能とは(ストップ装置付ドアクローザの場合)



ドアを開けておきたい位置で一時的に止めることが出来る機能です。

## 3. お手入れ方法

1) ドアを繰り返し開閉することによって衝撃や振動が加わり、ドアクローザを取付けているネジ(取替パーツの取付ネジを参照)が緩み、ドアが円滑に開閉しなくなることがあります。時々、ドアクローザを取付けているネジが緩んでいないか点検して下さい。緩んでいた場合はネジを締め直して下さい。放置しておくと、ドアの開鎖速度のコントロールが効かなくなったり、ドアクローザが落下して事故につながるおそれがあります。

2) お手入れは乾いた布で拭いて下さい。又、結露が生じた場合も、乾いた布で拭いて下さい。アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと塗装が剥がれたり色あせたりすることがあります。

## 4. 故障かな?と思ったら

下記のような現象が発生した場合は、速やかに建物管理責任者、施工業者、又は弊社にご連絡下さい。

- ☐ ドアの開まる速度が速くなってきた。
- ☐ ドアの開まる速度が遅くなってきた。
- ☐ ドアが開まる際、今までになく「ボタン」と大きな音がするようになった。
- ☐ ドアが円滑に閉まらなくなったり、ドアクローザから異音がするようになった。
- ☐ ドアが所定の開放停止位置で止まらなくなった。(ストップ装置付きドアクローザの場合)

※ドアクローザを長年使用されていると、ドアクローザ本体内部、部品などの摩耗・劣化により、当初の性能が維持出来なくなります。定期的に点検を依頼され、必要により交換されることをお勧めします。

## 5. 困ったときには

下記のような現象でお困りの時は、建物管理責任者、施工業者、又は弊社にご連絡下さい。

- ☐ ドアを開く時、70°~85°から重たい。(バックチェック機能付きドアクローザの場合)
- ☐ ドアが閉まる時、180°から70°~60°までなかなか閉まってこない。(ディレードアクション機能付きドアクローザの場合)
- ☐ ドアを開けておく位置を変えたい。(ストップ装置付きドアクローザの場合)

## 6. 生産中止後の取替パーツの供給可能期間

